

2020 年度

学生生活満足度・実態調査報告書

1. 調査目的

本調査は、亀田医療大学の学生支援体制およびキャンパス環境に対して、学生がどの程度の満足を得ているのかを把握し、さらに、得られた結果から、学生支援およびキャンパス環境の課題を明確にし、学生生活の充実に資することを目的とする。また、学生の修学状況や課外活動等の学生生活の現状を的確に把握し、今後の大学運営や学生生活の環境整備、将来的な大学計画の参考にする事を目的とする。

2. 調査対象

2020年8月時点で本学に在籍する全学生を対象とする。

3. 調査日時

2020年8月3日から8月20日

4. 調査方法

QRコードを配布し、iPadから記名式で回答する。学生に調査目的と趣旨を説明し、学生に自由意思で調査を行う。

5. 調査項目

アンケートの主要項目として、「Ⅰ.学生支援」6項目、「Ⅱ.屋内施設」15項目、「Ⅲ.屋外施設」3項目、「Ⅳ.大学生活全般について」5項目の満足度に関する質問事項を設定し、「Ⅴ.総合的な学生生活について」の満足度調査を行った。以降は実態調査として、「Ⅵ.通学形態と経済状況」3項、「Ⅶ. 修学の状況」では学修時間や学習内容について5項目、「Ⅷ. 課外活動」ではアルバイトやボランティアについて5項目、「Ⅸ. 学生生活の悩み」2項目の調査を行った。また各設問と調査用紙の最後に回答者の具体的な意見等を受けるための自由記入欄を設けた。

6. 調査数

本調査の集計分析対象とした学生は307名(休学者5名除く)である。うち協力の得られた学生数は299名であった(回収率:97%)。

(学年別の回収率)

学年	回答数	回収率
1年生(82名)	80名	98%
2年生(83名)	80名	96%
3年生(75名)	73名	97%
4年生(67名)	66名	99%

(男女別の構成比)

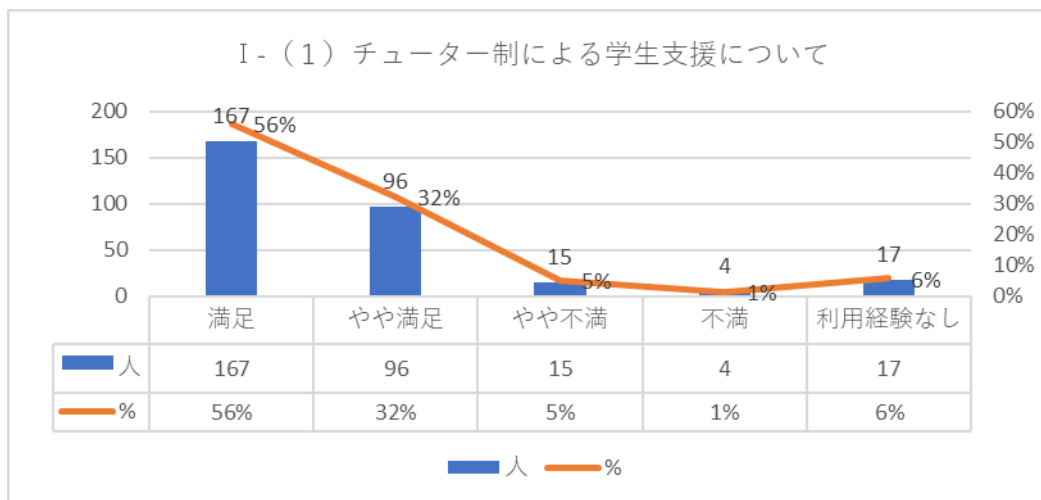
性別	1年生	2年生	3年生	4年生	合計	構成比
男性	11名	19名	11名	12名	53名	18%
女性	69名	61名	62名	54名	246名	82%

I. 学生支援について

(1) チューター制による学生支援について

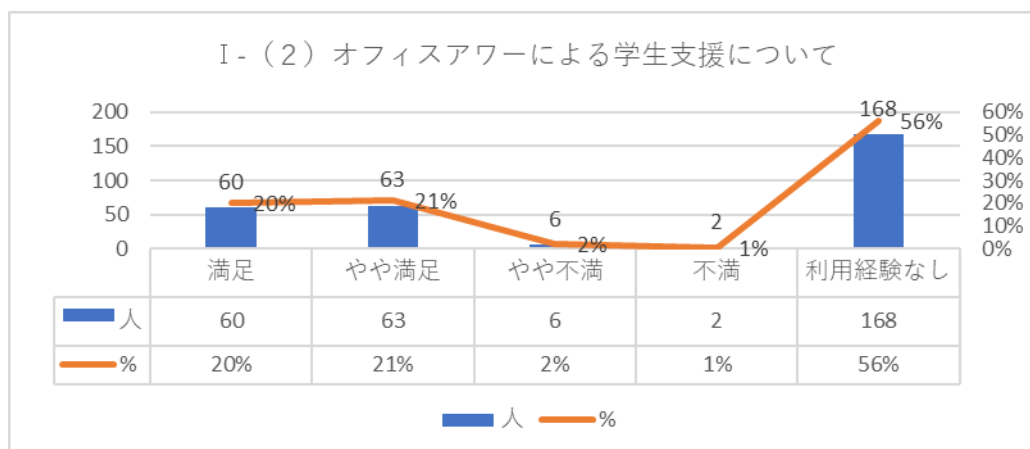
回答者のうち、チューター制度による学生支援に対する満足度は「満足」と「やや満足」を合わせた割合が88%程度、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が6%であった。チューター制度に対して9割近くの学生が概ね満足しており、前回調査（2019年度実施）の「満足」は57%であり、満足度は同じような結果となった。

しかし、自由記載では「学年が変わって先生が急に変わって戸惑いがある」「相談がしづらい」「チューターによって対応が違う」「チューター制を行っている理由がよくわからない」という学生がいた。引き続き全教員がチューターとしての役割を再認識して学生と向き合う必要がある。さらに今年度はチューター制の変更があったため、学生の理解を深めていくことが課題である。



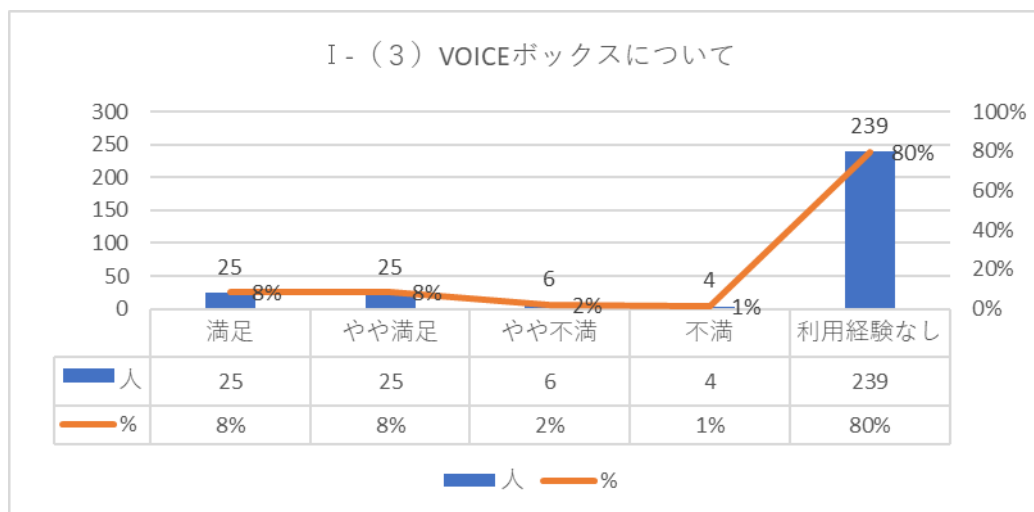
(2) オフィスアワーによる学生支援について

「満足」「やや満足」を合わせた学生の割合は41%で、昨年の43%と比べて満足している割合が少し下降し、「不満」「やや不満」を合わせた学生の割合は3%で昨年同様である。また、「利用経験なし」を回答した学生が56%おり、昨年より少し上昇した結果となった。



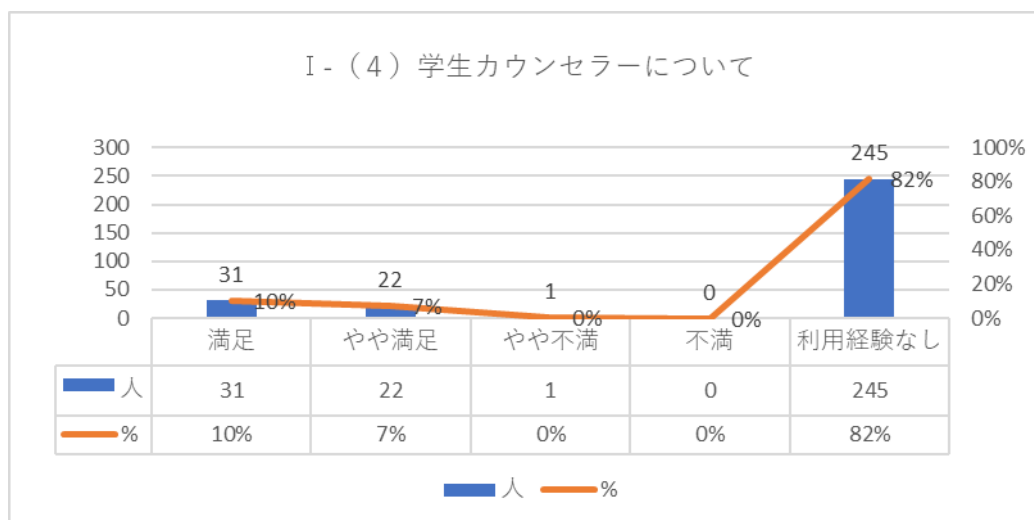
(3) VOICE ボックスについて

VOICE ボックス利用経験なしの学生の割合が前年調査の 71% に比べて 80% と上昇した。また、「満足」「やや満足」を合わせた割合が前回調査の 22% から今回は 16% と満足度は下降傾向にあった。



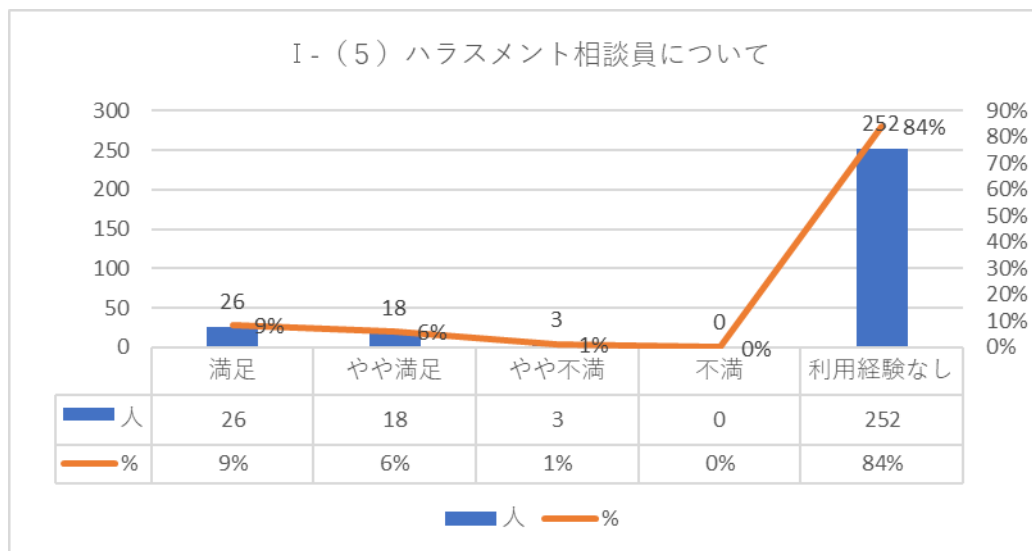
(4) 学生カウンセラーについて

学生カウンセラー利用経験なしの学生が前回調査の 77% に比べて今回は 80% 上昇し、「満足」「やや満足」を合わせた割合が前回調査の 22% から今回は 17% と減少していた。「やや不満」「不満」は昨年度 1% で今年度は 0% であった。



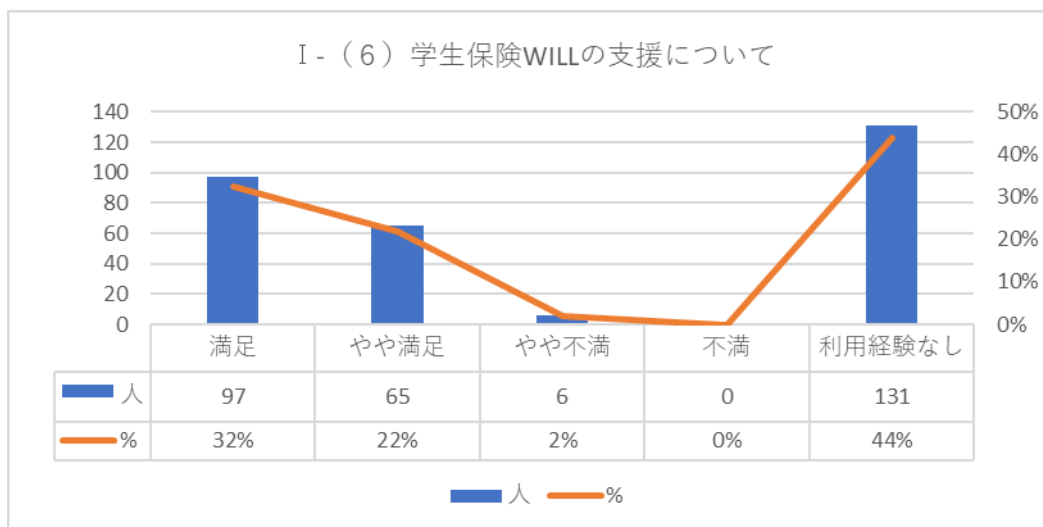
(5) ハラスメント相談員について

ハラスメント相談利用経験なしの学生が前回調査の 79%から今回は 84%と上昇し、「満足」「やや満足」を合わせた割合が、前回調査の 19%から今回は 15%と減少していた。



(6) 学生保険 WILL の支援について

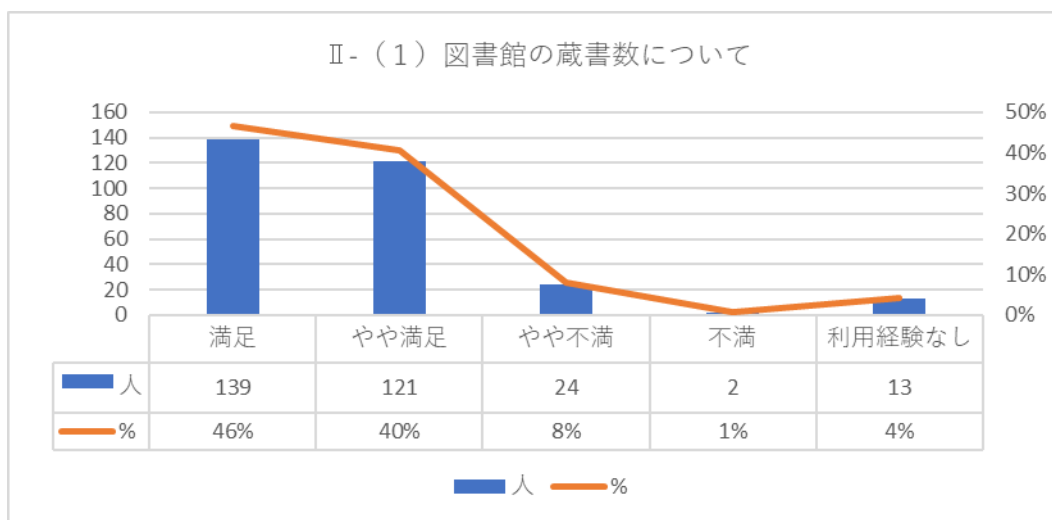
学生保険 WILL 利用経験なしの学生が昨年の 38%から今年は 44%と減少し、「満足」「やや満足」を合わせた割合が昨年 61%から今年は 51%と減少していた。



II.屋内施設について

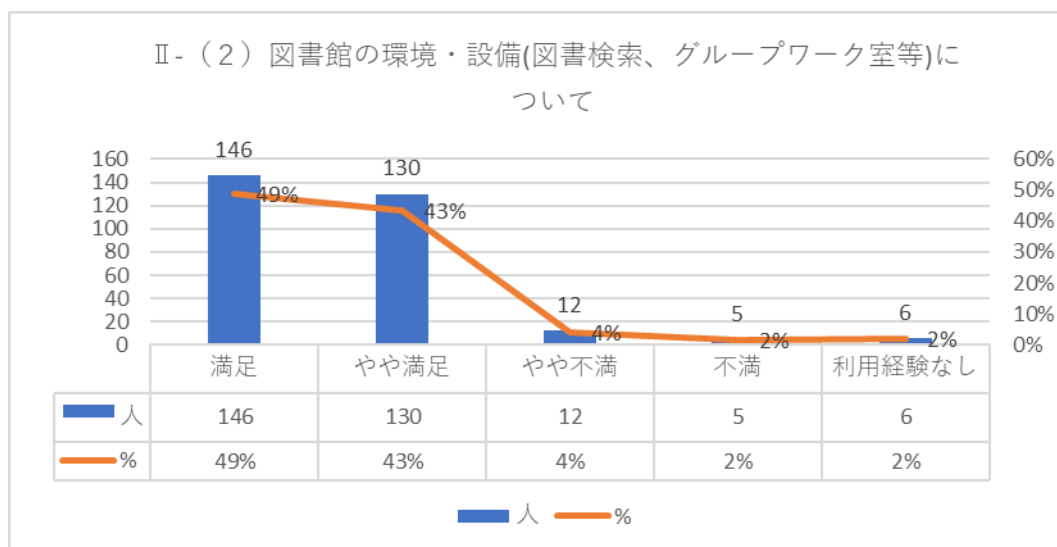
(1) 図書館の蔵書数について

図書館の蔵書数に対する満足度は「満足」「やや満足」と回答した学生は前回調査の73%から今回86%と大きく上昇し、「やや不満」「不満」と回答した学生は9%と減少していた。今年度も図書全般及び、医療に関する蔵書をして欲しいという意見があった。

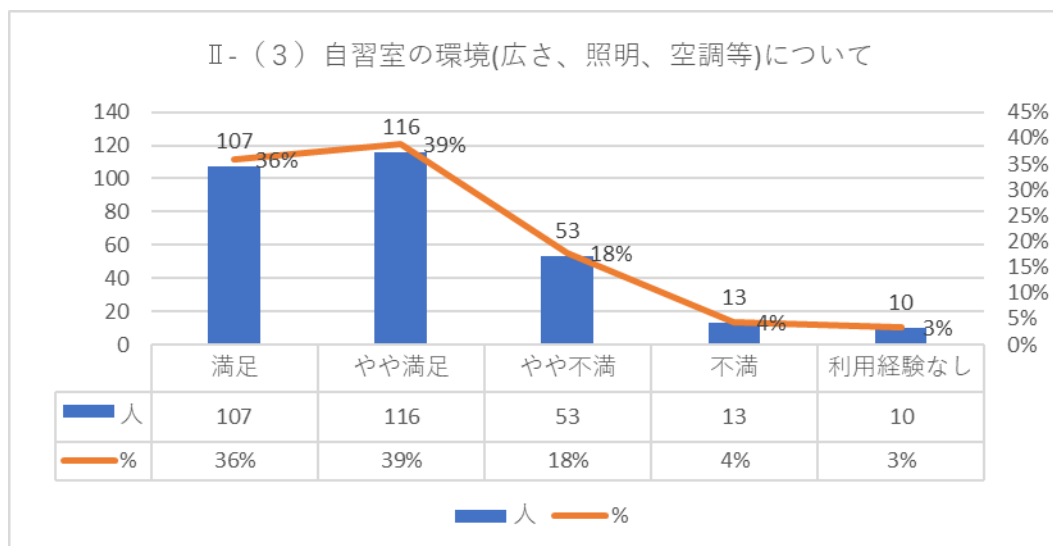


(2) 図書館の環境・設備(図書検索、グループワーク室等)について

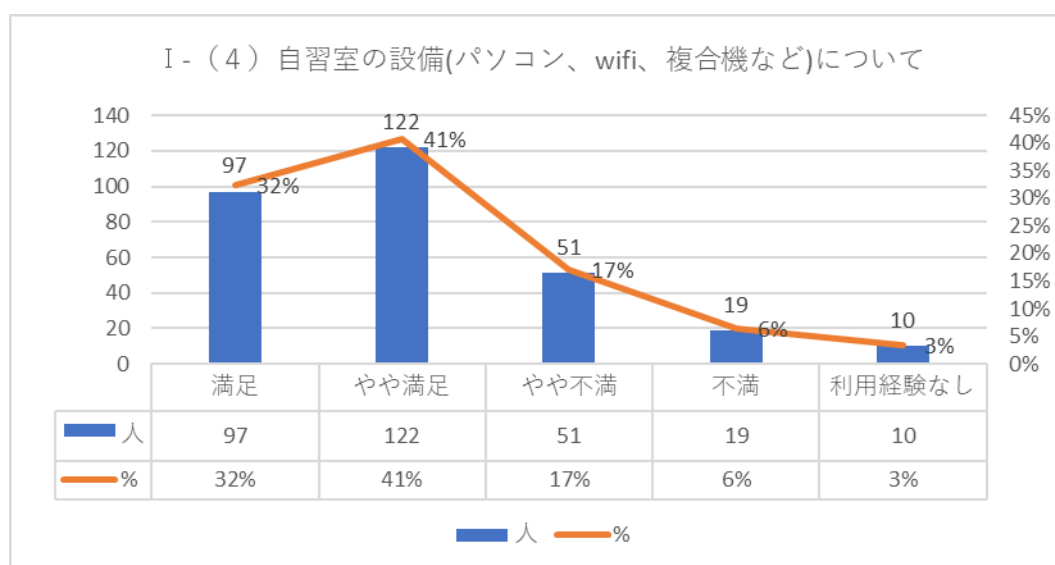
前回調査は「満足」「やや満足」84%であったが、今回は92%と大きく上昇した。



(3) 自習室の環境（広さ、照明、空調等）について



(4) 自習室の設備（パソコン、wifi、複合機等）について



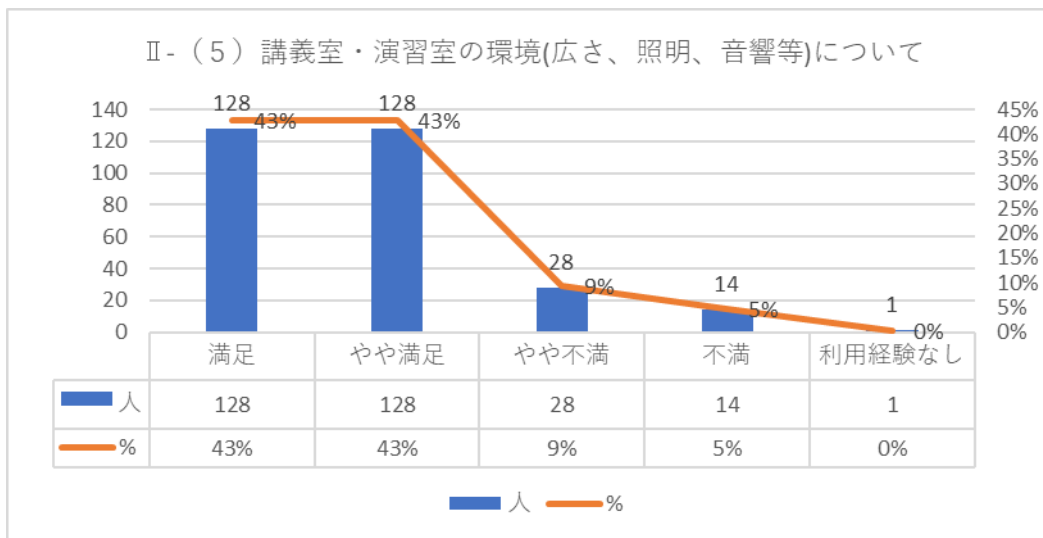
II - (3) (4) 自習室について

自習室の環境（広さ、照明、空調など）に対する満足度は、「満足」「やや満足」と回答した学生が前回調査は 68%であったが、今回調査では 75%と満足度が上昇していた。

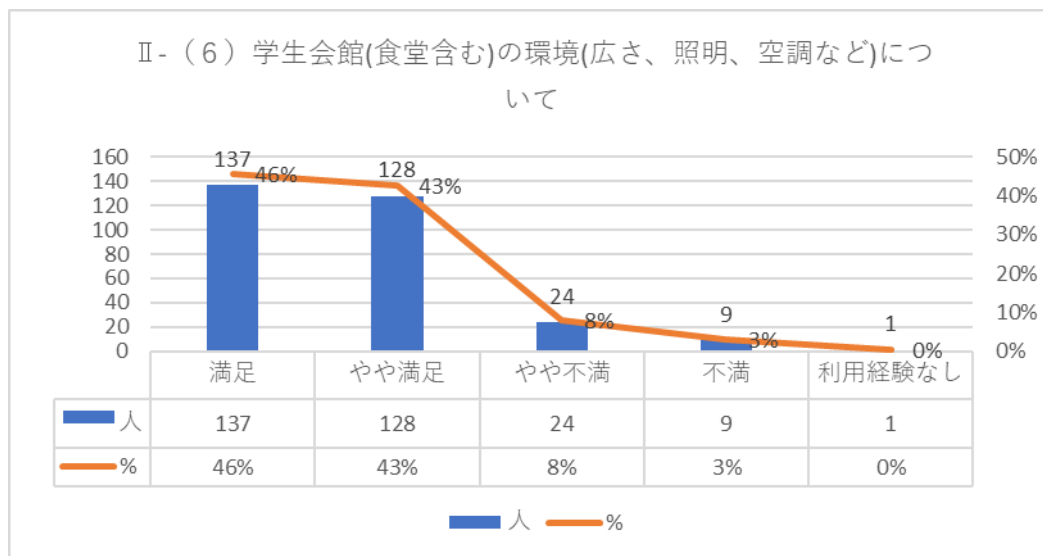
設備（パソコン、Wi-Fi、複合機など）に対する満足度は、「満足」「やや満足」と回答した学生が 73%で、前回調査の 55%よりも 18%も上昇した結果であった。不満の原因として、Wi-Fi が繋がらないが 23 件、パソコンが起動しない、機種が古い、印刷と繋がらないなどが 14 件の問題などが挙げられていた。今年度はコロナの影響で前期講義ではミズキホールを使用することがあり、それに伴う Wi-Fi が繋がらないことへの不満が多数であった。また、自習室が狭い、少ない、うるさいなどの意見が昨年同様 20 件以上挙げられていた。環境に関わる問題はコロナ対策に伴う制限も影響していると考えられる。

(5) 講義室・演習室の環境（広さ、照明、音響等）について

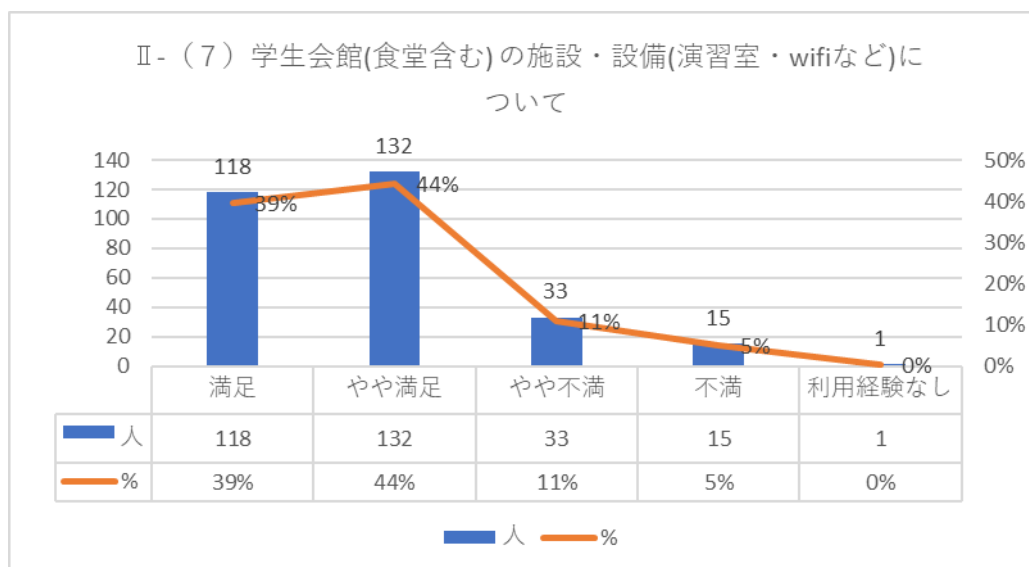
今年度は講義室と演習室を一緒にした環境（広さ、照明、音響など）についての設問とした。満足度は「満足」「やや満足」と回答した学生は86%であり前回調査より上昇した。休日の図書館演習室の開館を求める意見があった。



(6) 学生会館（食堂含む）の環境（広さ、照明、空調等）について



(7) 学生会館（食堂含む）の施設・設備（演習室・Wi-Fi等）について



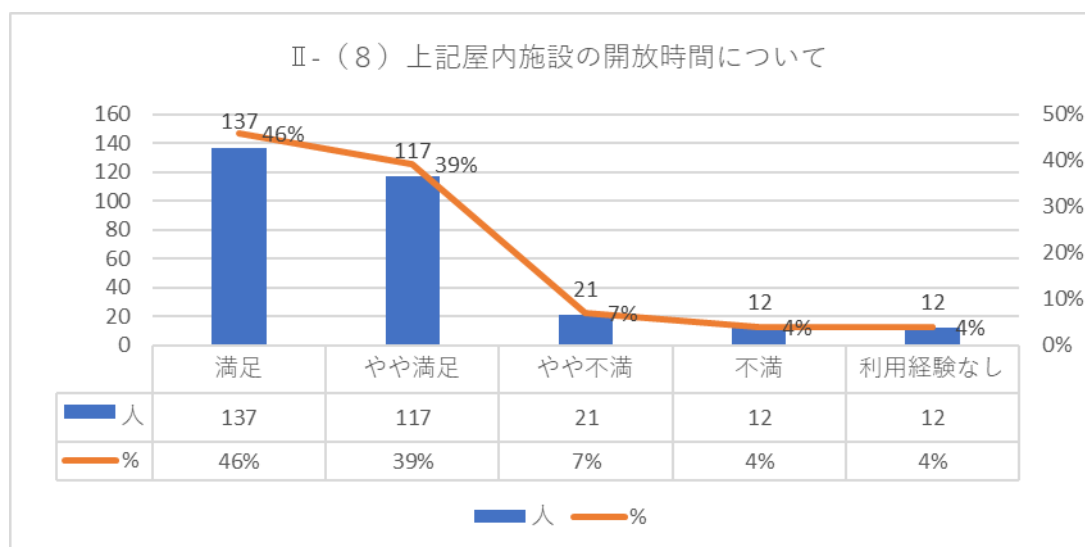
II- (6) (7) 学生会館について

学生会館の環境・施設については80%程度の学生が「満足」「やや満足」と回答しており、前回調査より78%から83%と大きく上昇していた。しかし今年度はコロナの影響で、学食がお弁当になっていることで数に限りがあり、早い時点での売り切れでパンの販売もないことからコンビニに行く機会が多かったという現状もあった。

学生会館の設備（wifi、複合機など）についての満足度は「満足」「やや満足」と回答した学生は83%であり前回調査の76%より大きく上昇した。学生会館のフリーwifiが「接続が弱い」「繋がりにくい」等の意見が数多く、全館がより快適に利用できるよう接続を強度化する改善がされていない点が前年度同様課題である。

II- (8) 上記屋内施設の開放時間について

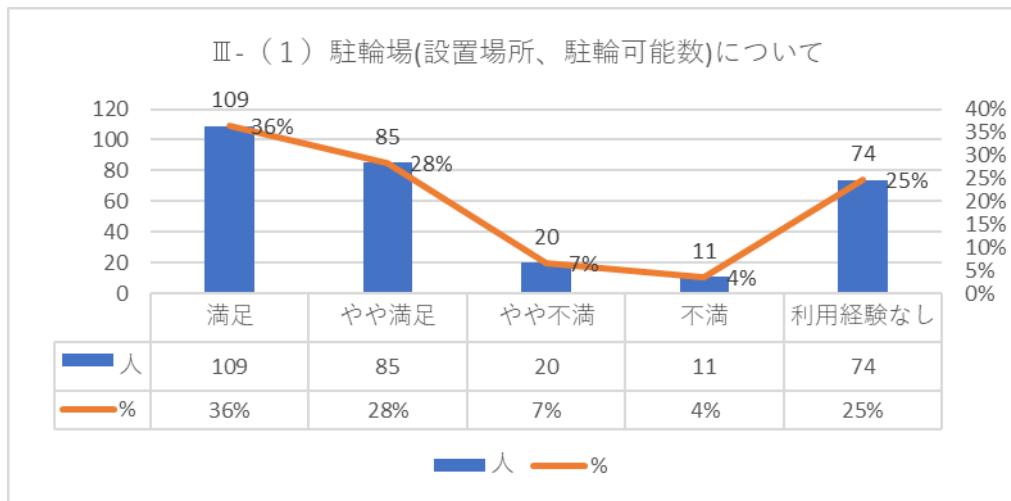
今年度は図書館・講義室・自習室・演習室・学生会館の屋内施設を1つにまとめて開放時間の設問とした。満足度は「満足」「やや満足」は77%であり、昨年度の個別評価の平均値より増加していた。



Ⅲ. 屋外施設について

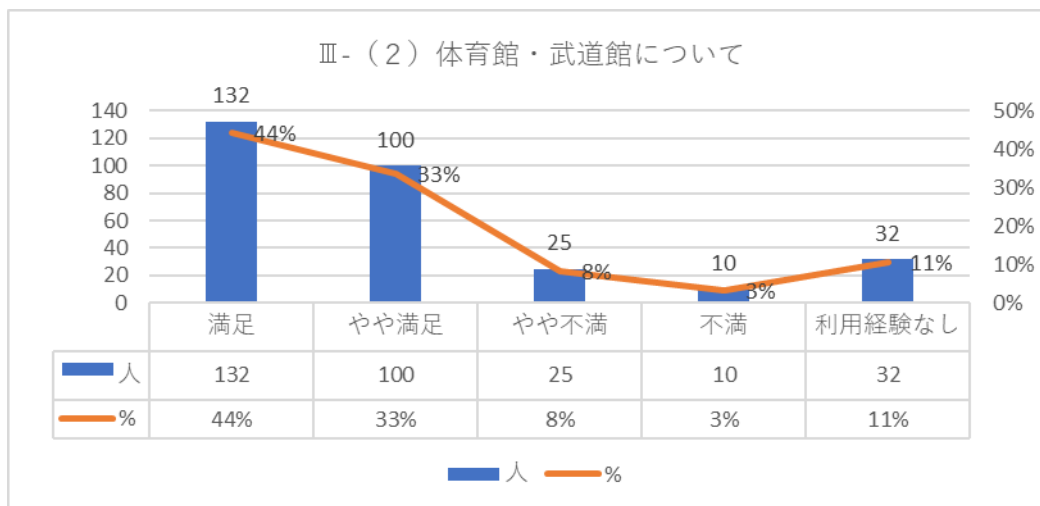
(1) 駐輪場（設置場所、駐輪可能数）について

駐輪場について、「満足」「やや満足」と回答している者が64%と昨年よりも高い結果であった。「不満」「やや不満」回答している学生は11%となり、昨年度より少し減少した。利用したことがないと回答している者が29%であるが、利用者の中で約半数以上の者から満足している意見がみられた。



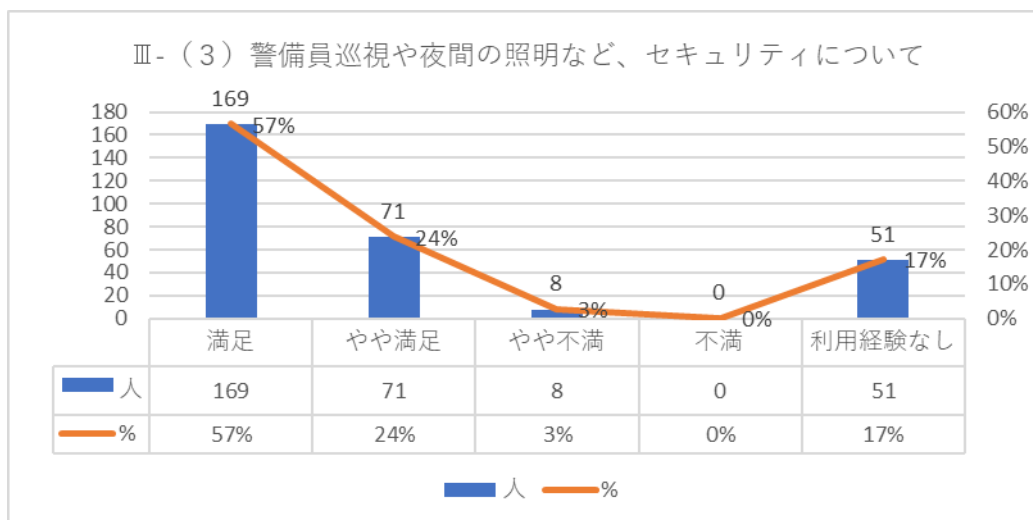
(2) 体育館・武道館について

体育館・武道館について、「満足」「やや満足」と回答している者が77%と昨年度の80%から少し減少した。「不満」「やや不満」回答している者が11%で、昨年度の8%から少し上昇した。利用したことがないと回答している者は昨年度同様13%であった。効果的に活用できる施設づくりに合わせて体育館の補修工事を実施したが、空調設備がない中での学習環境としては厳しい状況であったと言える。



(3) 警備員巡視や夜間の照明など、セキュリティについて

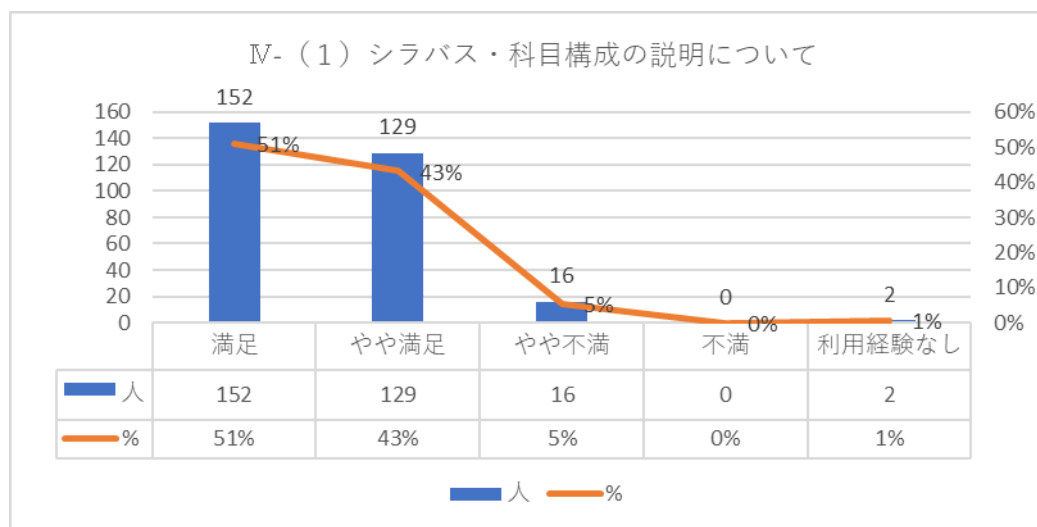
本学のセキュリティについて、「満足」「やや満足」と回答している者81%で、昨年度より2%減少した。「不満」「やや不満」回答している者は昨年と同様の3%であった。利用したことがないと回答している者が17%であった。大学周辺の街頭が少ないことに対する意見がみられた。



IV. 大学生活全般について

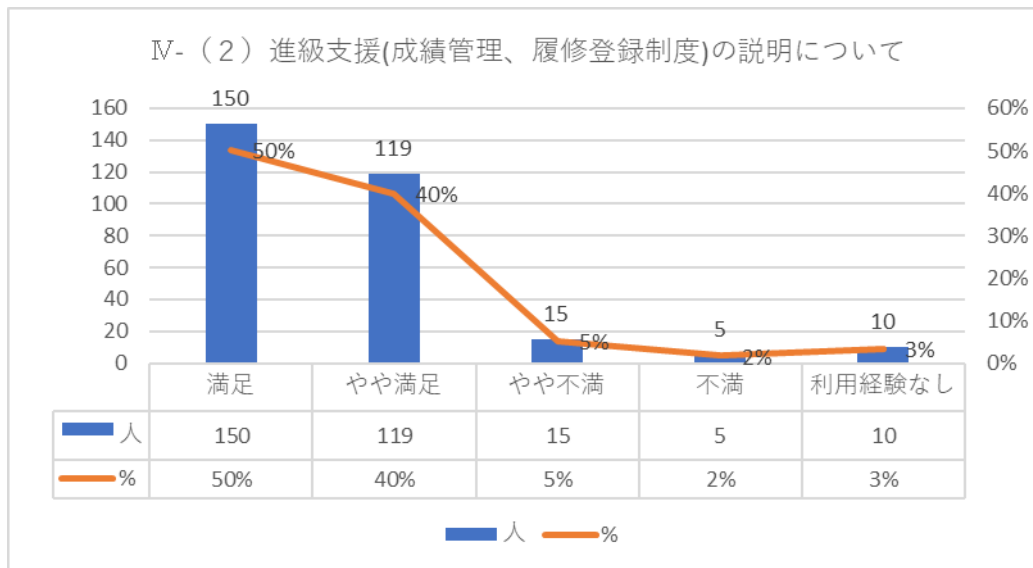
(1) シラバス・項目構成の説明について

「満足」「やや満足」と回答した学生は94%で昨年よりも少し高い結果であった。「やや不満」「不満」と回答した学生は5%となり、昨年度より4%減少し、満足度は高いと言える。



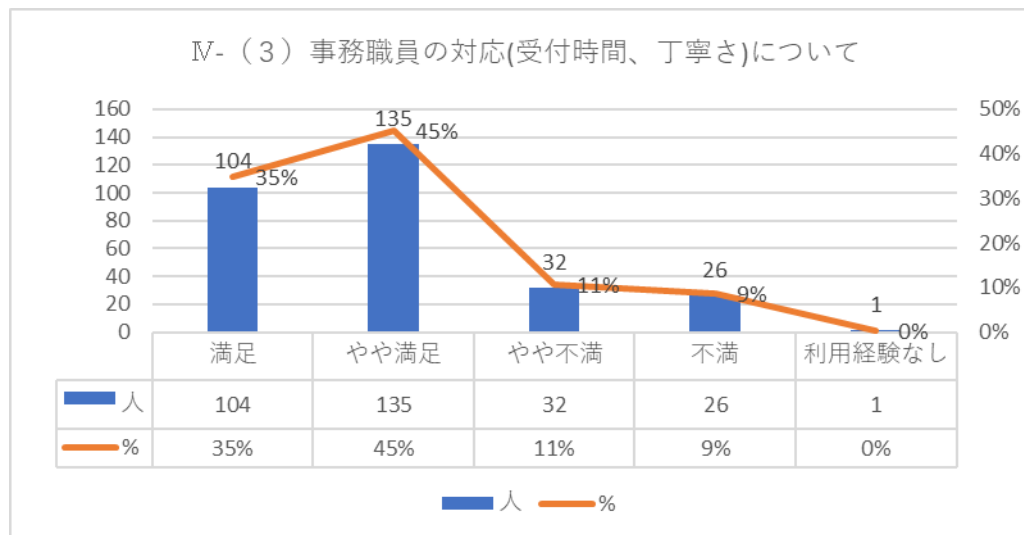
(2) 進級支援(成績管理、履修登録制度)の説明について

「満足」「やや満足」と回答した学生は90%であり、昨年の87%と比較し、満足度は上昇していた。「やや不満」「不満」と回答した学生は昨年度の11%から、今年度は7%と減少し概ね満足していることが明らかになった。



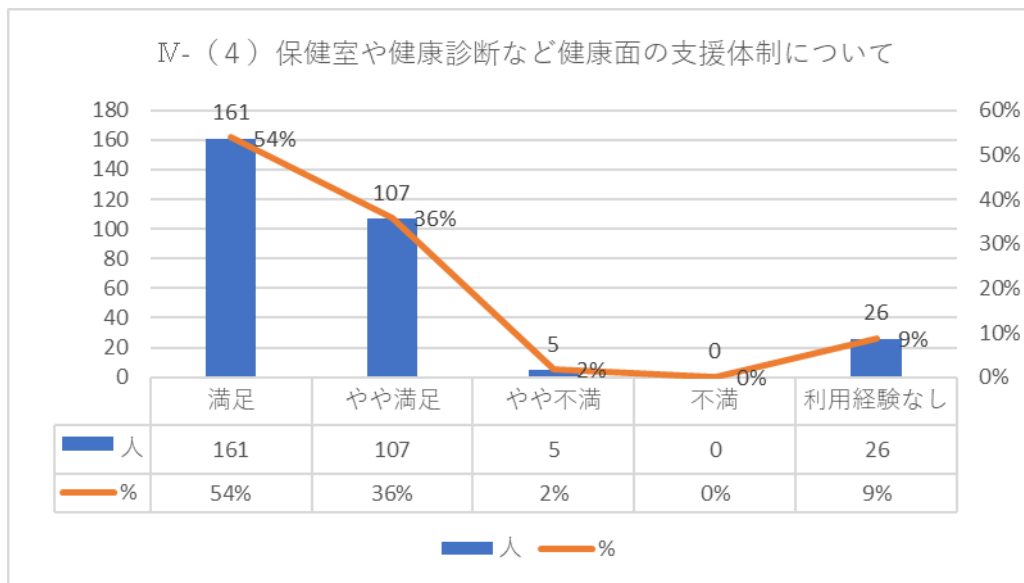
(3) 事務職員の対応(受付時間、丁寧さ)について

「満足」「やや満足」と回答した学生は80%であり昨年よりも9%も上昇していた。また、「やや不満」「不満」と回答した学生は20%で、昨年度より8%減少していた。しかし、5限目以降の受付時間解放の延長を求める意見が多かった。



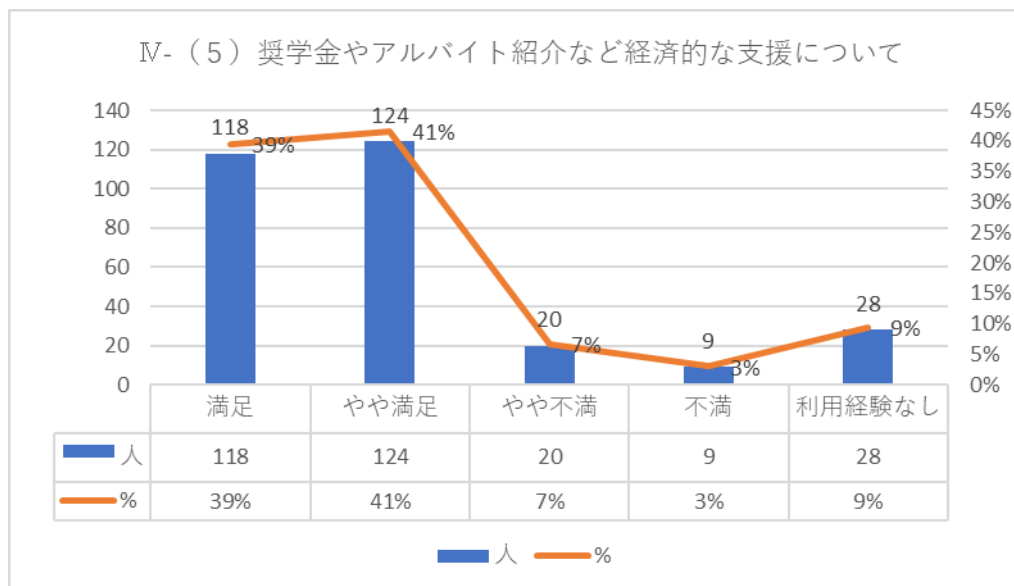
(4) 保健室や健康診断など健康面の支援体制について

「満足」「やや満足」と回答した学生は90%に達しており、昨年度より上昇していた。さらに「利用経験なし」と回答した学生は9%であり前年度より減少していることから満足度は高いと言える。



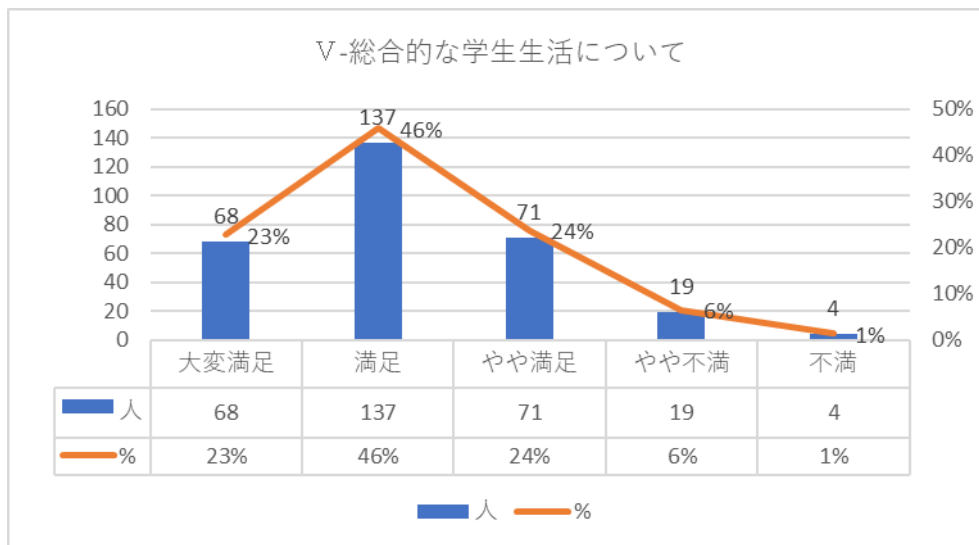
(5) 奨学金やアルバイト紹介など経済的な支援について

「満足」「やや満足」と回答した学生は80%に達しており、昨年度の満足よりも少し増加していた。しかし、コロナの影響に伴う給付金や休校中の施設費の返済への要望がみられていた。



V. 総合的な学生生活に対する満足度について

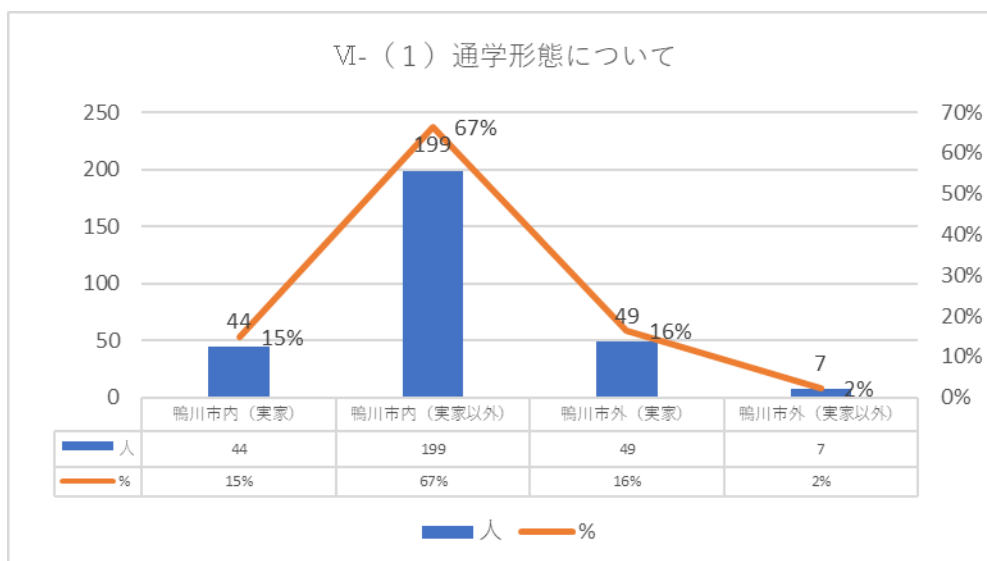
大変満足からやや満足まで含めると昨年度同様 93%の学生が概ね大学生生活に満足していることが明らかになった。



VI. 通学に関する実態について

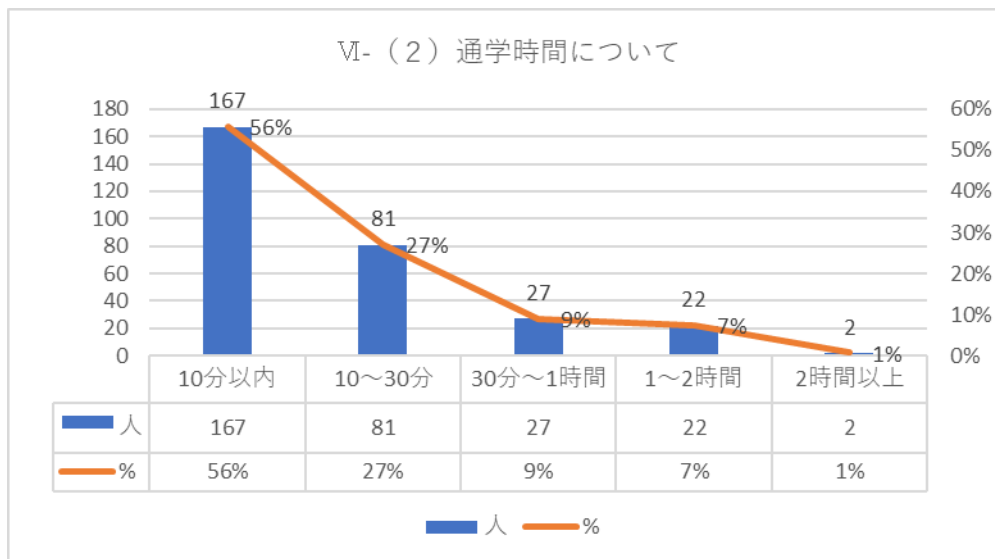
(1) 通学形態について

市内の自宅から通学している学生は 15%と前回調査より増加し、一人暮らしの学生は 69%と減少している。市外に居住している学生は 18%であり、市外に居住している学生は前回調査より減少していた。



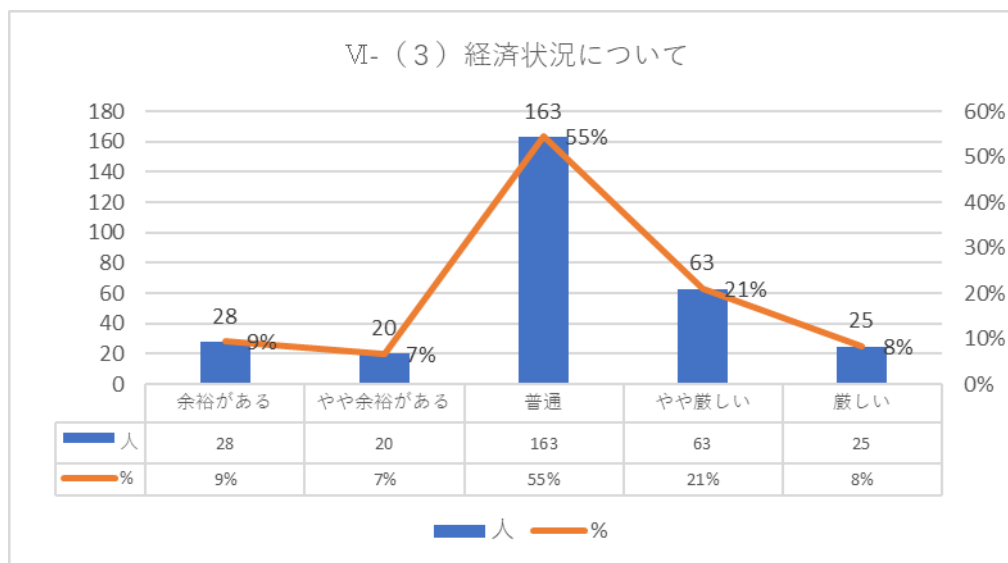
(2) 通学時間について

通学時間が30分以内の学生は83%であり、前回調査より少し増加していた。



(3) 経済状況について

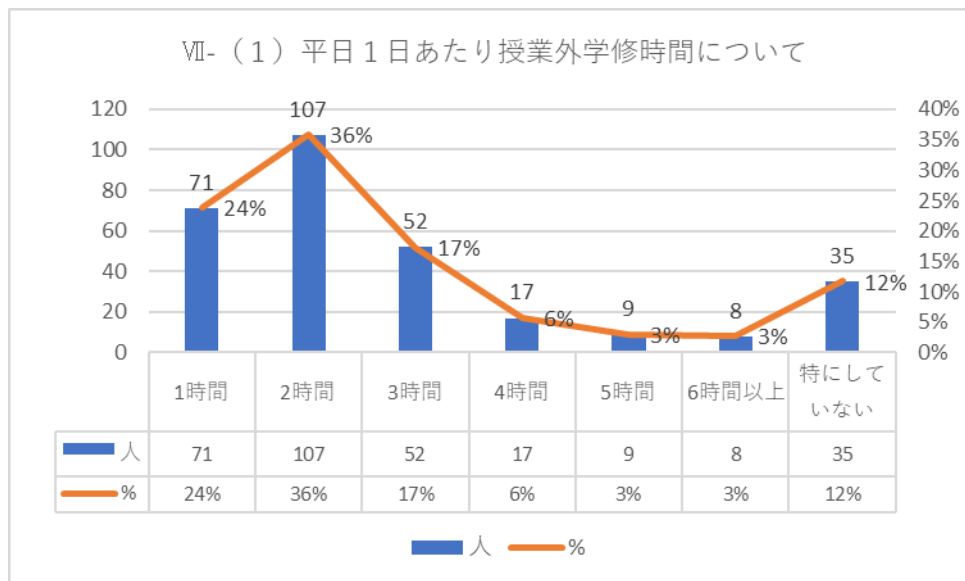
経済状況について普通と回答した学生が55%と最も多く前回調査より4%増加、次いで、やや厳しい21%、厳しい8%であった。前回調査時は厳しい・やや厳しいと回答した学生は34%であり4%減少していた。



VII. 修学の状況の実態

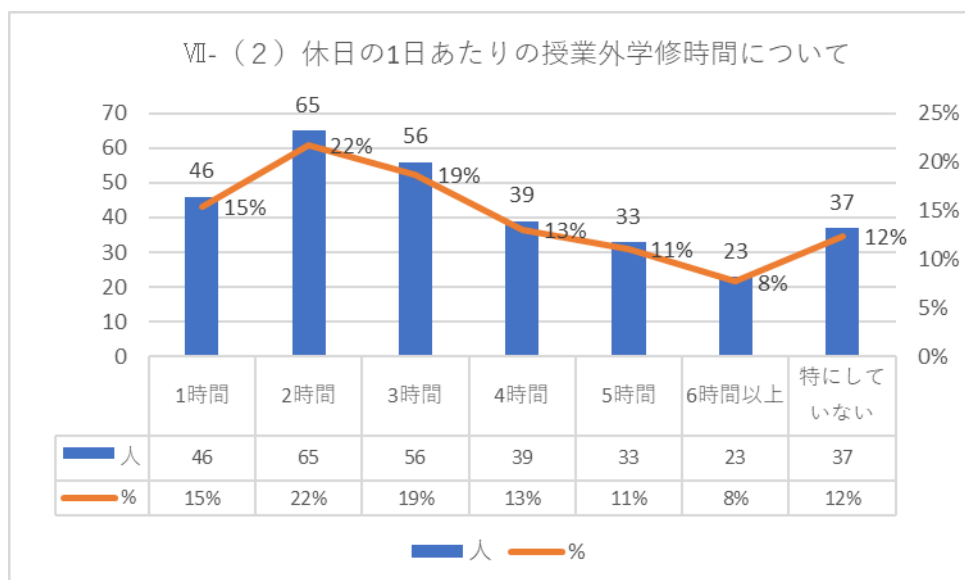
(1) 平日の1日あたりの授業外学修時間について

1日あたりの課外学修時間の多い順に2時間36%、1時間24%、3時間17%、特にしていない12%、4時間以上9%であった。前年度は1時間33%が一番多かった。



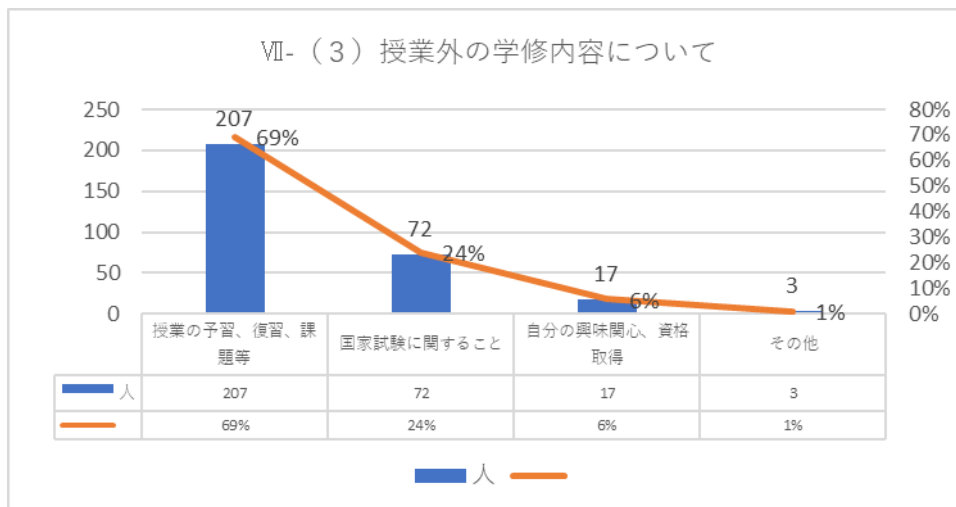
(2) 休日の1日あたりの授業外学修時間について

1日あたりの休日課外学修時間の多い順に2時間22%、3時間19%、1時間15%、特にしていない12%、4時間以上24%であった。前年度は1時間22%が2番目に多かった。

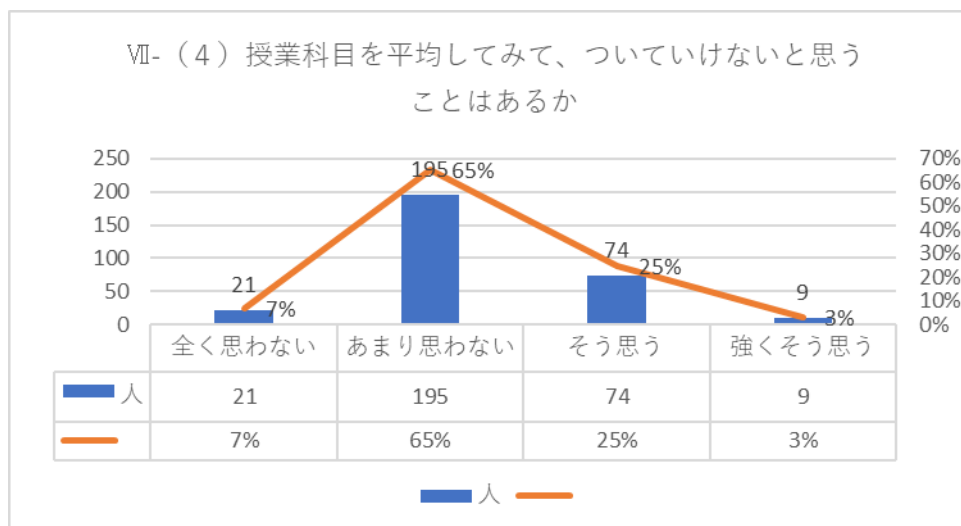


(3) 授業外の学修内容について

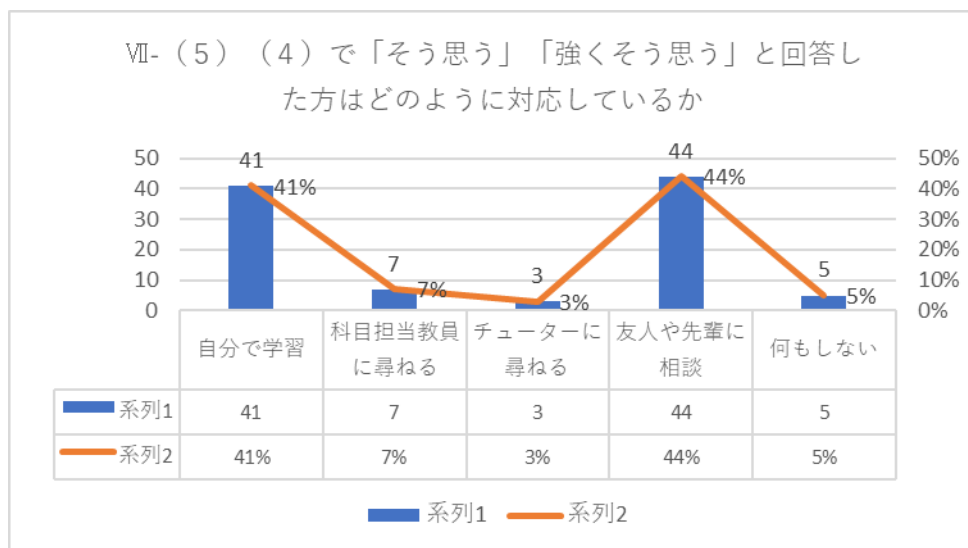
授業外学修の内容で最も多いものは、授業に関すること（予習、復習、課題）69%、国家試験に関すること24%、自分の興味関心・資格取得に関すること6%であった。



(4) 授業科目を平均してみても、授業についていけないと思うことはあるか



(5) (5) (4) で「そう思う」「強くそう思う」と回答した方はどのように対応しているか

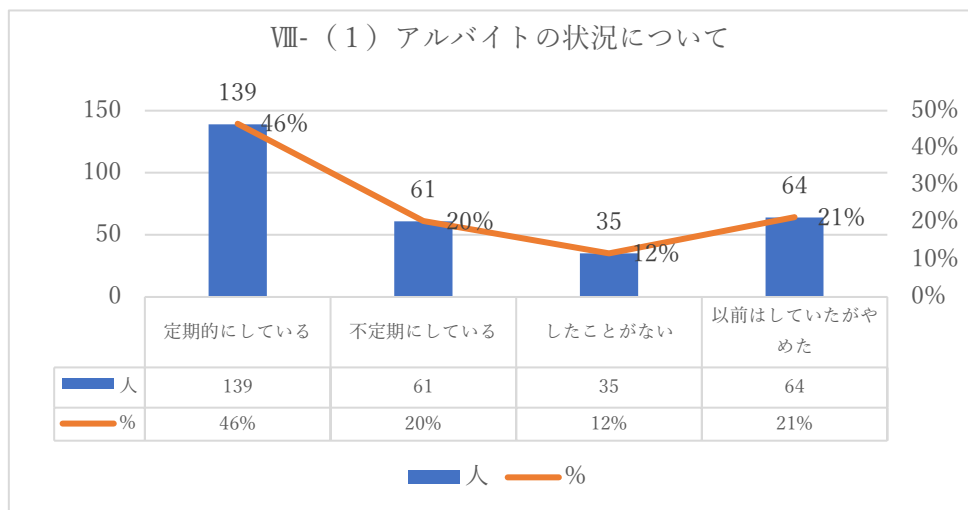


Ⅶ- (4) (5)

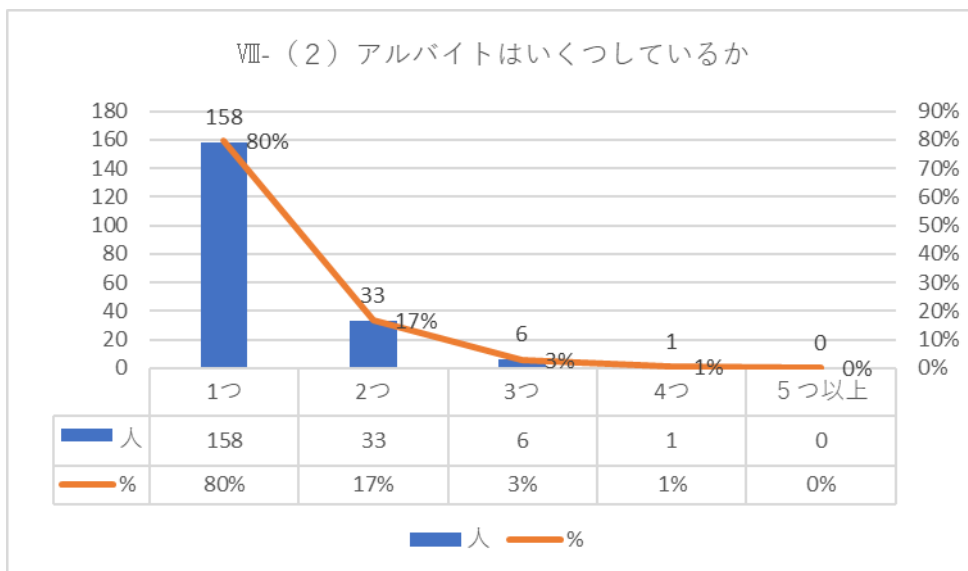
授業についていけないかどうかについて、全く思わない 7%、あまり思わない 65%と講義内容は 72%の学生は理解できていた。しかし、25%の学生がそう思う、3%の学生が強くそう思うと回答していた。また、授業についていけないときの対応は自分で学習する 41%、友人や先輩に尋ねる 44%と多く、講義担当教員やチューターに尋ねている学生は全体の 10%であった。

Ⅷ. 課外活動に関する実態

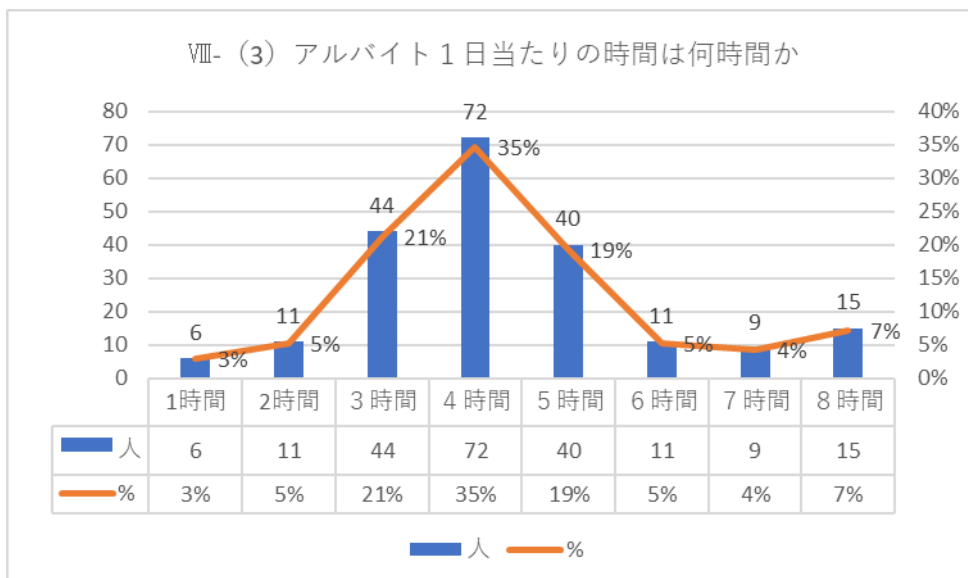
(1) アルバイトの状況について



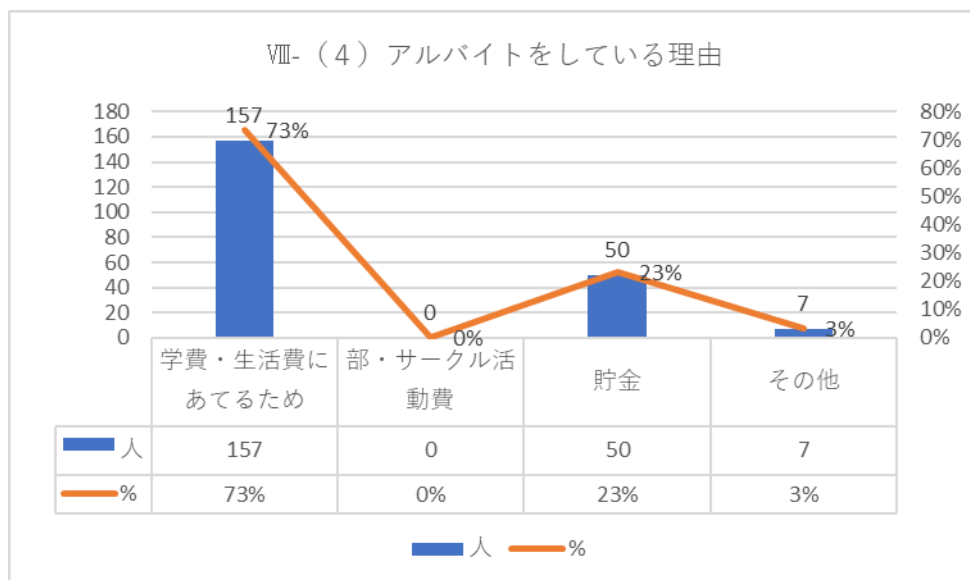
(2) アルバイトはいくつしているか



(3) アルバイト1日当たりの時間は何時間か



(4) アルバイトをしている理由



VIII - (1) ~ (4) アルバイトについて

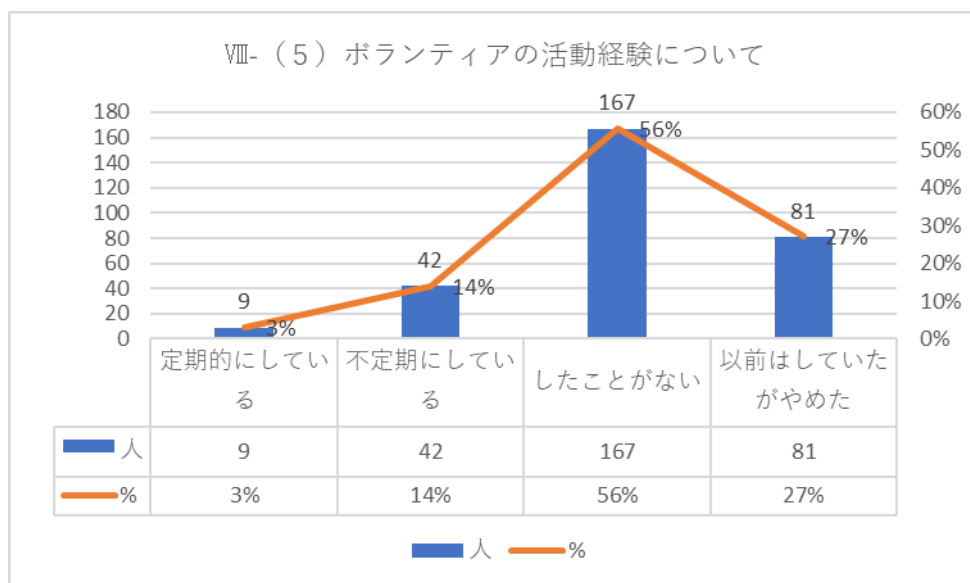
アルバイトを定期的、不定期にしている学生の割合は66%で、ほとんどの学生はアルバイト経験があった。アルバイトの数は1つが80%、2つが17%、3つ以上が3%であった。

1日当たりのアルバイト時間は多い順に4時間35%、3時間21%、5時間19%、2時間以内8%、6時間以上16%であった。

アルバイトをしている主な理由は学費や生活費に充てるための73%、次いで貯金が23%、その他3%であった。

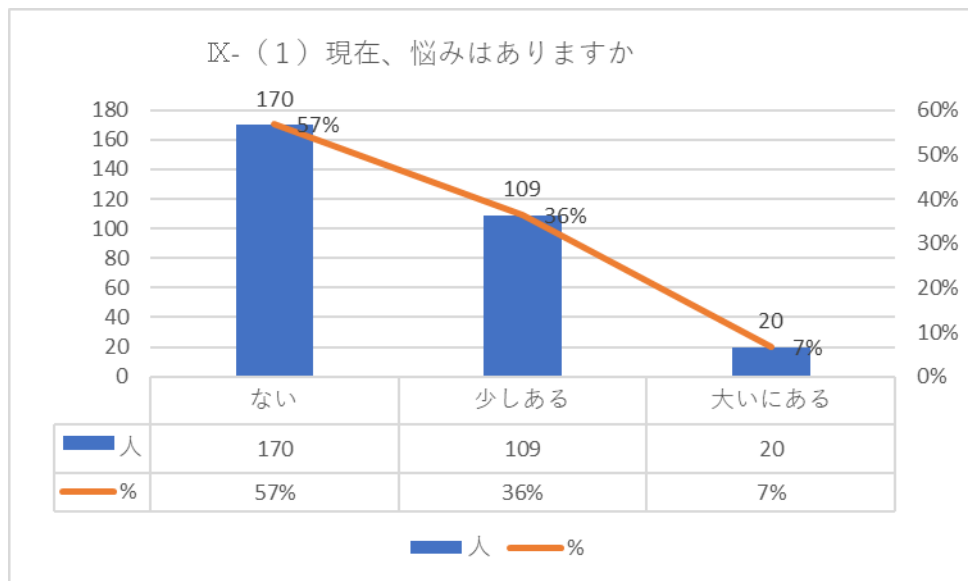
(5) ボランティアの活動経験について

ボランティアの経験について行った事がない学生が56%、不定期に行っている学生が14%、定期的に行っている学生が3%、以前は行っていたが現在は行っていない学生が27%であった。

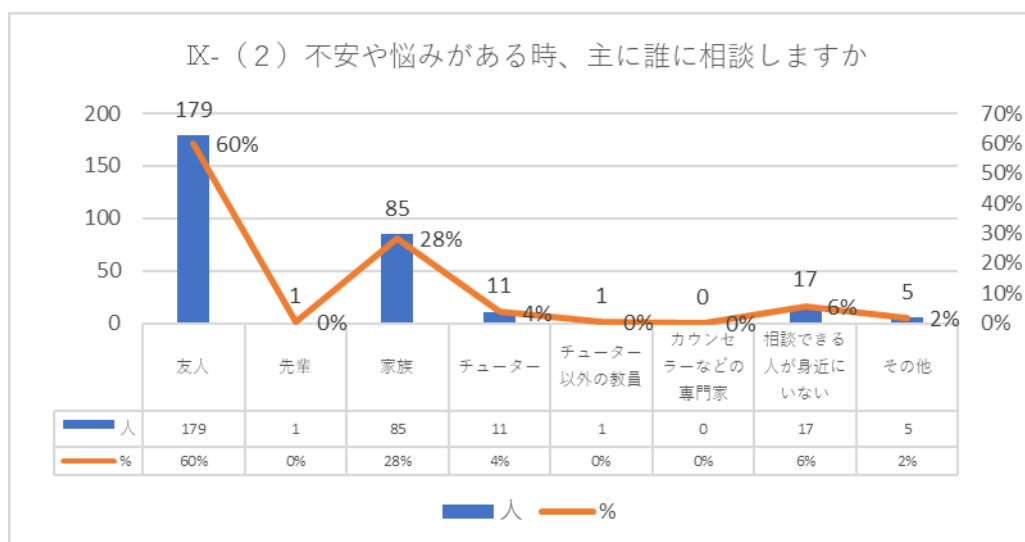


IX. 学生生活の悩みについて

(1) 現在、悩みはありますか



(2) 不安や悩みがある時、主に誰に相談しますか



IX- (1) (2) 学生生活の悩み

悩みについて、少しあるが36%と前回調査より4%減少、大いにあるは7%でほぼ同様であった。悩みを相談する相手は、友人60%、家族28%、相談できる人が身近にいない6%であった。チューターは4%、チューター以外の教員は0%と悩みがあっても教員に相談している学生は少なかった。またカウンセラーなどの専門家に相談していると回答した学生はいなかった。

【自由記載の分析結果】

学習支援については 10 件の自由記載があり、主な内容は「学年が変わって先生が急に変わって戸惑いがある」「チューターの先生が自分の話を十分に聞いてくれている実感がない」などチューター制に関してであった。また、「VOICE BOX に何度も入れているが、全くフィードバックがない」「VOICE ボックスは利用したいが、匿名にして欲しい」という意見が挙がっていた。チューター制については、今年度から 4 年間の大学生活の支援を強化するために、学年チューター制とした。学年主任を中心に教員がチームを組んで学生生活全般を支援していくとともに、学年チューター制の変更に伴う学生の理解を深めていくことが必要である。

施設の室内環境については 85 件と多くの自由記載があった。最も多い意見としては、空調設備の不具合に伴う不満、自習室のパソコンや複合機についての不具合や使いづらさと Wi-Fi 環境に関する不便さなどであった。特に今年度は新型コロナウイルス感染の影響により学生会館ミズキホールを使用することがあり、Wi-Fi が繋がらないことへの意見が多く挙げられた。その他、平日休日の演習室の解放を求める意見が多かった。さらに、2つの講義室を使用している同時に講義が行われたため、その害から不平等さを感じている学生もいた。自習室や演習室の使用、講義室の環境に関わる問題は、新型コロナ感染に伴う制限が影響していると考えられるため、学生に対して感染対策の理解を促す必要がる。

学生会館に関する自由記載では、食堂で販売するお弁当の数に限りがあり、早い時点での売り切れ、パンの販売もないことからコンビニに行く機会が多かったという現状もあった。その他にも昨年同様、食事の時間に座席が足りない、学内コンビニの設置や自動販売機を増やしてもほしいと希望する声があった。食堂で販売するお弁当については、今後も継続する必要があるれば検討を重ねていくことが必要である。

施設の室外環境については 30 件の自由記載があり、体育館・武道館への冷暖房の設置、駐輪場の拡大と屋根の設置、駐車場の使用許可を求める意見が多数であった。これらのことについては改善を重ねてきているため、学生に理解を求めていく。

大学生活全般については 23 件の自由記載があり、最も多い意見として、事務室の受付時間の延長を求める内容と事務職員の接遇に関する内容であった。受付時間については大学の管理的な問題があるため延長はできないことを、学生に繰り返し説明していく必要がある。

その他、新型コロナウイルス感染の影響に伴う自粛期間中の学費や設備費の返済や給付金などの経済的支援、大学との連絡方法の統一（メール、フォームス、チームス、掲示板など）を求める意見があった。また、学習環境に伴うネット環境の充実を求める意見が多くみられたため、学生の学びを向上していくためにも改善していく。

前期講義では試行錯誤しながら学習環境を整え教育に取り組んできたため、教員は授業評価を受けて教育改善に取り組み、学生を支援していく必要がある。